

県立大学「古生物学関係の新学部」の開設について

1 開設目的

- ・本県の恐竜化石の発掘調査の成果、恐竜博物館、地質学上重要な水月湖の年縞、東尋坊の柱状節理など、県下全域におよぶ学びの環境を活かし、恐竜学や地質・古気候学などを学ぶ新学部を開設
- ・世界の学術研究拠点として、人材育成・研究を進めるとともに、我が国のオンライン、ナンバーワンの学部として、福井県のブランド力を向上

2 概要

- (1) 名称： 恐竜学部 恐竜・地質学科（仮称）
（恐竜・古生物コース／地質・古環境コース）
- (2) 定員： 入学定員 30名
- (3) 開設時期： 令和7年4月
- (4) 本拠地： 勝山キャンパス（かつやま恐竜の森 第3駐車場）
（1年生：永平寺キャンパス、2年生以降：勝山キャンパス）

3 育成人材像（想定される就職先）

県内各地域における発掘調査、地質調査など現場での活動を通じ、古生物のほか地質・岩石・地形等の学びを深め、都市計画や防災等にも活かせる力を身につける

- ・政策立案・教育・研究分野
研究者（大学）、博物館学芸員、教員（理科） 等
- ・デジタル関連分野
IT関連産業、土質力学・道路測量に関する地質系のデジタル関連産業 等
- ・観光関連分野
ジオパークなど自然関連の観光業（旅行会社、ツアーガイド）、出版業、報道関係 等
- ・地質関連分野
地質・土木・建築系コンサルタント、公務員（土木）、ゼネコン等建設産業、環境アセスメント関連 等

4 教育・研究の特色

- (1) 県立恐竜博物館との強力な連携体制
 - ・施設および研究機器を相互利用し、両施設の機能を強化
 - ・博物館研究員が学生への授業や実習を担当
 - ・博物館の展示・保管技術や普及事業を教育に組み込む
- (2) 現場重視—フィールド科学の実践—
 - ・県内各地域における発掘調査、地質調査など現場での活動を重視し、現場で得られた情報を適切に判断・対処できる実践的スキルを習得
- (3) 国際的視野に立つ教育・研究
 - ・世界的恐竜研究センターとして、世界で活躍する研究者による学生指導や海外研究機関との共同研究により、先端的研究の推進と国際的感覚の養成
- (4) 先端技術による研究
 - ・CTスキャンやVR、MRなどの先端技術を駆使したデジタル古生物学研究
 - ・古生物標本だけでなく自然景観のデジタル化により、造形モデル等の商品開発やVR等を活用した新たな観光資源を創出

5 施設整備費

約27億5千万円

| 整備内容 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|---|--------------|-------|-------|-------|
| 鉄筋コンクリート造 約4,200㎡ ・講義室（30名収容） ・実験室（30名収容） ・大型CT室 ・地質調査室 ・教員研究室 ・学生研究室 ・休憩・交流スペース 等 | 基本設計 地質調査 | 実施設計 | 建築工事 | 建築工事 |

※1年次は永平寺キャンパスで一般教育科目を受講、学部棟は令和8年度から使用開始

県立大学恐竜学部（仮称）建設予定地 位置図

勝山キャンパス建設予定地
（第3駐車場）
敷地面積：約 7,500 m²

機能強化後

恐竜博物館

市街地

市道 5-21 号線

県立大学かつみキャンパスの整備について

令和4年2月7日
大学私学課

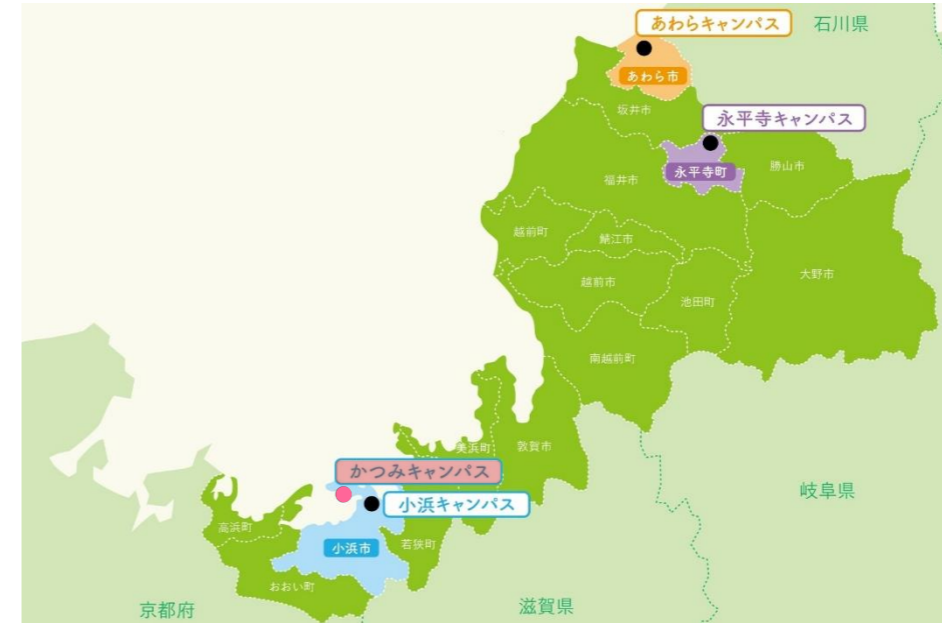
資料NO.4-2

○ 先端増養殖科学科の開設

- ・ 開 設 令和4年4月
- ・ 入学定員 30名

○ 先端増養殖科学科関連施設の概要

- ① 新 学 科 棟 (鉄筋コンクリート造2階建) 延床面積 1,926 m²
- ② 飼育実験棟 (鉄骨造平屋建) 延床面積 772 m²
- ・ 施設整備費 約23億5千万円 (国の地方創生拠点整備交付金を活用)
上記のうち、かつみキャンパスは約18億8千万円
- ・ 工事期間 令和4年7月～令和5年7月 (約12か月)
供用開始は、令和5年10月 (後期授業) から



<外観デザインのコンセプト>

- ・ 小浜湾は漁業や養殖業が盛んで、日本海側の天然の良港として古くから貿易が行われ、栄えてきた
- ・ かつみキャンパスは、小浜湾を臨む内外海半島に位置し、行き交う船や波の状況など、湾全体を眺望することができる
⇒ 嶺南地域ならではの魅力を引き出し、学生の学習意欲を向上させることができる意匠として、小浜湾をモチーフとし、穏やかでありながらも、賑わいや活気ある施設を計画



【外観 イメージ図 (正面)】



【外観 イメージ図 (西側)】

県立大学大学院「健康生活科学研究科（博士後期課程）」 の開設について

県内の大学等において高度な看護研究・教育を担う人材を育成し、地域医療・福祉の安定的な提供体制に寄与するため、大学院に看護学専攻の博士後期課程（3年）を開設する。

1 名称

研究科名：健康生活科学研究科

専攻名：健康生活科学専攻

2 特徴

- ・看護学と社会福祉学を融合し、「ウェル・ビーイング（健康と幸福）」実現にフォーカスする全国的にも数少ない専攻
- ・看護系の博士後期課程としては、県内初の設置

3 定員

入学定員 3名（収容定員 9名）

4 開設時期

令和5年4月

5 育成人材像（修了後の主な進路）

- ・保健・医療・福祉それぞれの専門的知識・技術に加え、高い見識を兼ね備えた地域に貢献できる人材
病院の看護部門・福祉施設の幹部職員、大学・大学院の教員 等
- ・健康から生活までの多様な課題を包括的に探究できる自律的・国際的な人材
研究機関・シンクタンクの研究員 等